



戸村 ひとみ 議員



旭の農業の未来と可能性について

問 学校教育と農業の連携について、予算編成時の今、改めて学校給食完全無償化に向けた取り組みはどうなっているか伺う。

他市の実施状況や本市での財政負担シミュレーション

答 を行い、給食費無償化の拡充に向けて、協議、検討を進めている。

問 有機農業の推進について、国では2050年までに25%有機農業という高い目標を掲げているが、旭市はどのような取り組みをしているか。

答 市では有機農業の環境負荷低減効果等の周知、情報発信、手続き案内等を行っている。

問 外国人観光客誘致について、旭の持てる観光資源、ポテンシャルが外国人誘致に生かされていないと感じる。本市の地域資源である農業や食を生かしたインバウンドへの取り組みを伺う。

答 市HPは外国語表記に変換できるので外国人の方も観

光情報について閲覧できる。

問 千葉県は東日本大震災以降停滞していた農林水産物の輸出拡大と、県内観光周遊によるインバウンドの拡大を目指しているが、県の農畜産物を支えている本市の、農畜産物の輸出拡大について、県と連携した取り組みを伺う。

答 県では輸出相談会の開催や輸出に興味のある事業者等への情報提供等を行っている。市もこれらと連携し、事業者等への情報提供を行っていききたい。

※インバウンド：解説は16ページ。

持続可能なまちづくりについて

問 千葉県生誕150周年記念事業に関して、どのように取り組んでいるか。

答 大原幽学記念館特別展と「ぼるぼる」の2事業を実施。

問 子どもたちの才能を伸ばし、夢を実現させるために、具体的な目標を立てる等のアドバイザーやサポートが教育に関わる大人たちの責任だと思う。芸術文化の振興について、学校教育における取り組み、特に子どもたちの才能を伸ばす教育について伺う。

答 芸術文化に触れる機会の創出、特色ある学校づくり等の支援をしている。

物価高騰対策について

問 低所得世帯への7万円の追加給付について、今後の予定を伺う。

答 年内に予算化するよう国から通知があり、本日補正予算を提案した。

問 生活者への物価高騰による負担軽減対策、医療、介護、保育施設、学校施設等に対する支援策、中小企業への支援策及び子育て世帯への支援策について伺う。

答 重点支援地方交付金で、生活者や事業者を支援するための推奨事業メニューが示されている。支援策については、どのような事業を行うことが最も適当であるか、現在検討している。

電気自動車について

問 電気自動車のインフラ整備として、市役所駐車場に電気自動車の急速充電設備の設置はできないか。

答 充電インフラの整備は、SDGsの複数の目標達成に関わるものであり「豊かな旭を次世代につなげていく」というまちづくりの方針にもつながるものである。急速充電設備の設置については、前向きに検討していく。

問 市では何台の電気自動車が公用車として使われているのか伺う。

答 公用車に電気自動車は1台もないが、政府が導入を目指している電動車4種類（電気自動車、燃料電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、ハイブリッド自動車）のうちハイブリッド自動車を23台所有している。

問 今後、公用車に電気自動車を導入する考えはあるか。

答 公用車の更新の際には、市場の普及状況や充電設備の整備状況を注視し、公用車の使用用途にもよるが、補助金や有利な起債などを活用しながら、一定程度は導入したいと考えている。

問 その他の質問事項

○高病原性鳥インフルエンザ対策について
○高齢者向けのスマートフォン教室について



伊藤 房代 議員

